



東京工業大学

土木工学科 40周年記念誌

土木工学科創設40周年にあたって

土木工学科設立40周年記念事業委員会委員長

同窓会「丘友」会長

池田 駿介

1965年に東京工業大学土木工学科が創設されて以来、はや40年が経ちました。この間、工学部土木工学科と関連がある組織として開発システム工学科、情報理工学研究科情報環境学専攻、総合理工学研究科人間環境システム専攻、環境理工学創造専攻、が次々と設置され、土木工学科をはじめ、これらの組織を卒業された丘友会員は約2000人の多くを数えるに至っています。この間在籍した教職員ならびに卒業生による土木分野における学術、行政、実務などにおける活躍、貢献はまことに目覚ましく、旧制国立大学において最後発の土木工学科であったにもかかわらず、現在ではわが国を代表する土木系学科の一つとして押しも押されぬ存在となっています。この間、学内外で本学土木系の発展のためご尽力いただいた多くの方々の支援に対し、この場を借りて心から御礼申し上げます。

戦後、土木界は、先進諸外国に比べて圧倒的に立ち遅れていた社会基盤の不足が経済発展の隘路とならないよう、昼夜を分かたぬ奮闘を続けてきました。この需要に応えるためには人材供給が必須であり、本学土木工学科が創設された当時は、全国的に土木系学科創設のラッシュであり、例えば1964年および1967年には一挙に9学科が新設されました。しかし、現在では、戦後復興・経済発展のために最も効率がよかった方式が制度疲労を起こしており、発注方式、財政への圧迫、自然や社会環境に対する影響、国際化、など土木界として解決しなければならない問題が山積しています。土木工学科の第1回卒業生の大部分の方々は、今年人生の再出発を意味する還暦を迎える年となりました。我が国の土木界をリードしてきた本学土木系学科も、この40周年を基点として未来の土木界のあるべきたたずまいを熟考し、社会に向かって発信すべきときに来ていると存じます。そのためには、従来造るための学術・技術に重点をおいた教育・研究を中心に推進してきた本学科が、教育・研究方針やそのための体制をどのように変革するかが出発点であるように思います。

土木系同窓会「丘友」は、これまで卒業生が若かったこともあり、土木工学科最年長教授が伝統的に会長を勤めて来ましたが、しかし、第1回卒業生が還暦を迎えられたこともあり、今年度から卒業生から会長を選出することと致しました。同窓会として、創立40周年を契機に漸く本来の姿になったと言えます。新しい会長を中心として、今年を同窓会の新たな発展の出発点として頂きたいと念じております。

最後に、日頃のご支援に対して皆様に改めて御礼を申し上げますとともに、今後とも土木系学科および同関係者に対し、従来と変わらぬご愛顧をお願いして挨拶とさせていただきます。

土木工学科設立40周年に寄せて

東京工業大学長 相澤 益男



東京工業大学土木工学科が設立40周年を迎えて、その記念祝賀会を開催する。ご同慶のいたりであり、お祝い申し上げたい。

1965年（昭和40年）に設立された工学部土木工学科は、1985年（昭和60年）に設立20周年の記念祝賀会を挙行了た。その折、当時の松田武彦学長は、教官全員が東京大学出身者という本学では異例のスタートであったにもかかわらず、20年間にわたる教育および研究面の成果は顕著であり、立派に成人式を迎えた感慨を述べられている。この20年間は、本学に基盤がなかった土木工学がしっかりと根付き、東京工業大学土木工学科の存在が社会に十分認知されるに至った草創期であったといえよう。

さらに20年が経過し、このたび設立40周年という大切な節目を迎えた。この間、土木工学科は実に見事な展開を示し、画期的な発展期を築いたとその評価はきわめて高い。特に、本学における土木工学関連の学科・専攻の設立に著しい貢献を果たしているこ

とが注目されよう。1993年（平成5年）には大学院総合理工学研究科環境物理工学専攻の新設（1998年には環境理工学創造専攻に改組）、1994年（平成6年）には大学院情報理工学研究科情報環境学専攻の新設、1991年（平成7年）には大学院総合理工学研究科社会開発工学専攻から人間環境システム専攻への改組、工学部開発システム工学科の新設、1999年（平成11年）には大学院理工学研究科国際開発工学専攻の新設とその進展は目覚しい。

2000年（平成12年）には大学院重点化が実施され、専攻の改組が行われるとともに、運営の基盤が学科から専攻に移行した。しかしながら、土木工学科の教育面の設立以来の実績を総括すると、学部卒業生1,521名、修士課程修了生895名、博士課程修了生97名、論文博士127名を輩出している。さらに国際大学院コースの充実及び数多くの留学生教育は特筆される。今や、質および数の両面において日本の土木界をリードする一大勢力といえるようになったばかりでなく、海外にも重要なインパクトを与えるようになったといえよう。誠に喜ばしいことである。

他方、研究面における進展も著しい。21世紀COE「地震工学」の拠点形成、JSPS拠点プロジェクト推進等に見られるように、土木工学科及び土木工学専攻の国内・国外の評価はますます高まるとともに、今後の発展に多大の期待が寄せられている。

知の時代とされる21世紀である。輝かしい節目に、次の10年あるいは20年を見据え、叡智を結集して、新しい時代を切り拓く“土木工学”の壮大な将来展望を提示されることを願ってやまない。

目次

東京工業大学土木工学科40周年記念誌

土木工学科創設40周年にあたって

土木工学科設立40周年記念事業委員会委員長・同窓会「丘友」会長 池田 駿介

土木工学科設立40周年に寄せて

東京工業大学長 相澤 益男

巻頭グラビア 1

学科・専攻の記録, 現状 21

東工大, 土木学科の歴史..... 22

土木工学科・土木工学専攻の沿革, 関連学科・専攻..... 24

土木工学科, 土木工学専攻の教育..... 27

プロジェクト型研究..... 33

国際研究交流..... 35

研究分野紹介 37

構造工学分野..... 38

水工学分野..... 55

地盤工学分野..... 66

コンクリート工学分野..... 76

土木計画学・交通工学分野..... 82

地震工学分野..... 91

卒業生の動向 97

寄稿 107

旧・現教員..... 107

卒業生..... 127

座談会 171

資料編 181

博士論文題目..... 182

修士論文題目..... 188

卒業論文題目..... 204

在学時の集合写真..... 230

表紙デザイン 佳作..... 251

編集後記